

加工食品の物価及び生産・販売動向

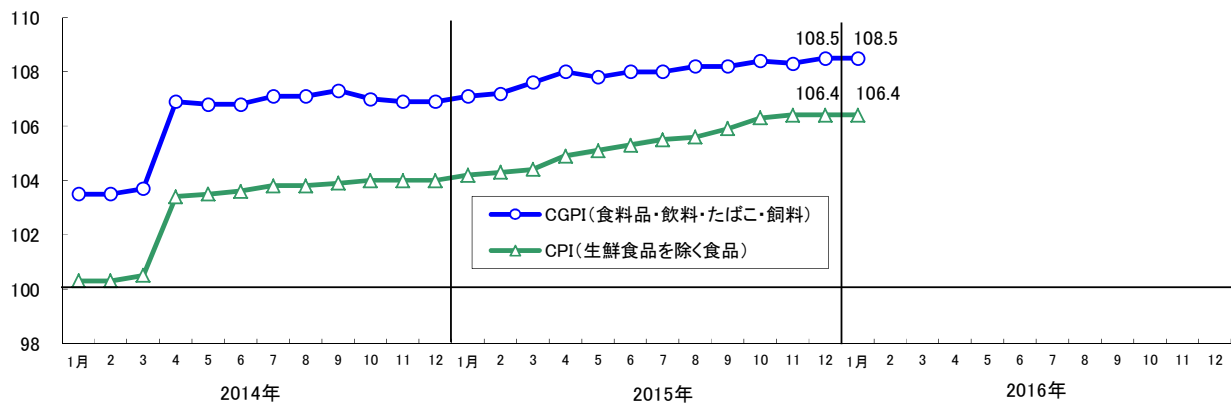
1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価及び消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、2014年4月からの消費税引き上げにより上昇し、108.5と高水準で推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食品）は同106.4で、企業物価指数と同様に上昇基調となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数

2010年=100



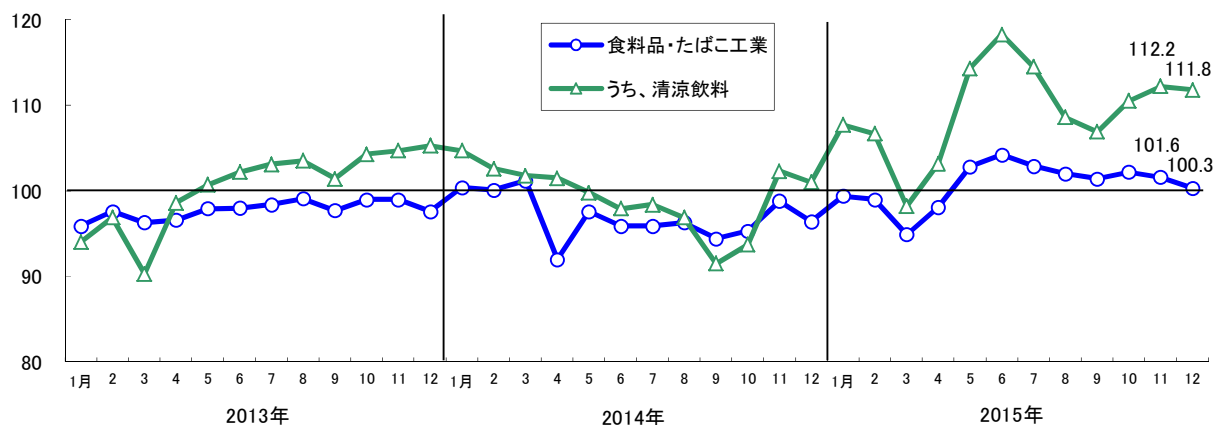
資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比でわずかに低下、うち、清涼飲料は同前月並み

12月の食料品・たばこ工業の生産指数は、100.3で前月比▲1.3%とわずかに低下となった。うち、清涼飲料は111.8で前月比▲0.4%と前月並みとなった。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2010年=100 季節調整済



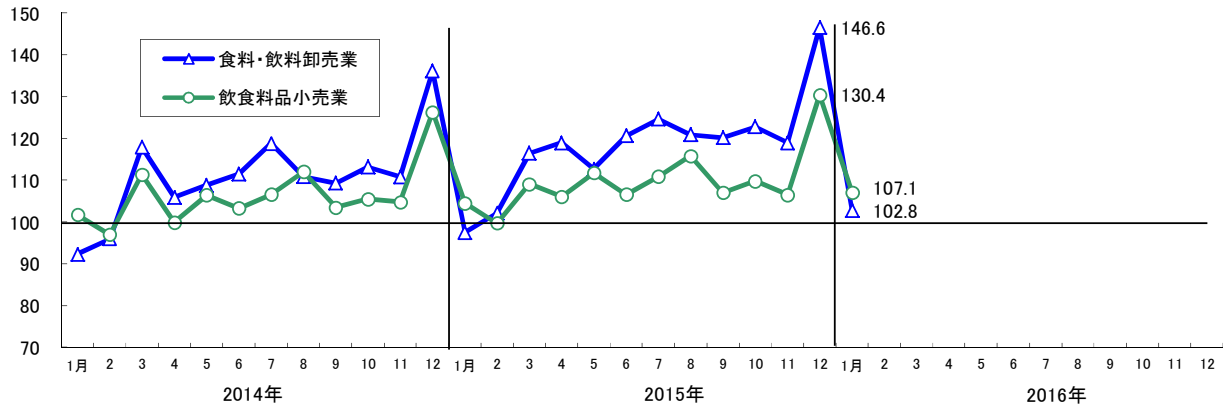
資料: 経済産業省「鉱工業生産指数」

3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でやや増加、小売業販売額は同わずかに増加

2016年1月の食料・飲料卸売業の販売額指数は102.8で対前年同月比5.4%とやや増加した。飲食料品小売業の販売額指数は107.1で同2.5%とわずかに増加した。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向



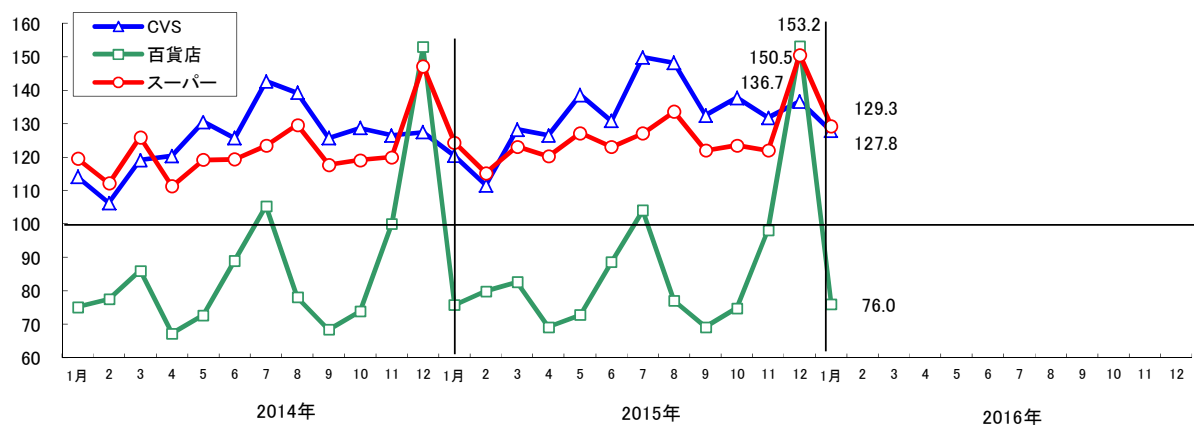
資料: 経済産業省「商業販売統計」

4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVSは対前年同月比でかなりの程度増加、スーパーは同やや増加、百貨店は同横ばい

2016年1月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは127.8で対前年同月比6.1%とかなりの程度増加、スーパーは129.3で前年同月比4.0%とやや増加、百貨店は76.0で前年同月比0.3%と前年同月並みで、コンビニエンスストア、スーパーは堅調に推移した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向



資料: 経済産業省「商業販売統計」

注: コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。